

衆議院議員中谷真一後援会

真勇会だより

号外

2017年7月発行

中谷真一後援会

「真勇会葦崎支部」が設立されました!

会長に浅川貴氏が就任

6月21日(水)、前地方創生担当大臣・石破茂衆議院議員をお招きし、葦崎市のホテル舟山に於きまして、中谷真一後援会「真勇会葦崎支部」の設立総会が開催されました。

年内にも想定される衆議院解散総選挙を見据え、葦崎市の発展のためにも、中谷代議士の支援の輪を広げていくことにご賛同頂き、発起人、各種団体の皆様他、多くの方々のご協力により300名近いご出席を頂きました。



会長には、浅川貴(株式会社関東技研代表取締役)さんが就任され、副会長に(以下敬称略)山寺誠、功刀正広、小泉茂、幹事長 守屋久、副幹事長 小沢栄一、青年部長 島村茂幸、青年部副部長 浅川裕康、金井洋介、事務局 柳本晃一、高野純矢、西野賢一が選任されました。

今後は、この方々を中心に活発な活動を展開して行きます。どうぞ宜しくお願いいたします。



内藤久夫葦崎市長、保坂武甲斐市長、自民党県連の皆川巖会長代行らご来賓のご臨席を頂く中、「地方から創生する山梨の未来」と題し、前地方創生担当大臣・衆議院議員石破茂先生による講演をいただきました。石破先生は、

「人口減少が日本の最大の課題。2100年には日本の人口は今の半分になる。」その上で、地方創生に向け「どんな町をつくりたいのか、国ではなく、市民一人ひとりが考える事が必要だ」と話しました。

中谷代議士は「防災面から見ても東京一極集中を排し、地元葦崎を地方創生のモデルとしたい」と述べました。

